

■ サプライヤーインタビュー



ニトリのつっぱり壁面収納「Nポルダ」を中心に、多くの商品製造を担っている海外のサプライヤーで、10年以上のお取引があります。品質への意識が高く、「不良率ゼロ」を究極の目標とし、ニトリグループのNWC活動にも2015年よりご参加。品質管理、環境配慮において、常に積極的な改善と進化を続ける企業です。

ニトリグループとの関わりの中で、会社として成長できたと感じたことを教えてください。

ニトリは品質に対する意識と開発意欲が高く、協業を通じて当社もまた品質管理の意識とレベルを更に高め、生産技術の向上につながってきました。特に当社の主力製品であるニトリの「Nポルダ」シリーズでは、周辺製品の提案、品質改善、製造設備の研究と高度化、生産効率向上などに取り組む機会を得ることができ、当社が経営理念とする「品質＋納期＝信用、信用＋革新＝発展」を体現することで、競争力の向上につながることができました。

ものづくりをする上で、心がけていることを教えてください。

製品開発においては、安全性はもちろんのこと、環境・社会課題への対応も心がけています。環境負荷の低減への取り組みとしては、製造過程における廃棄物の削減、CO₂の削減につながる天然ガスへの転換、リサイクル原材料の活用にあります。また、社員が安心して働けるよう、生活の安定に留意し、安全な職場環境の実現に努めています。その成果として、社員の8割以上が10年以上の在籍者であり、そのうち3割は20年以上の在籍と、定着率が向上しています。高いエンゲージメントと団結力を維持し、企業と社員が互いに努力し成長していける企業であることは、重要な社会的責任であると考えています。

NWC活動に参加した理由を教えてください。

当社は創業から30年以上が経ち、今後の更なる成長のためには常に新しい考え方や事例に触れるべきだと考え、2015年よりNWCに参加しました。NWCでは、表面的な問題解決ではなく、「現状の品質を検証」し、「問題点の発見・分析」、「解決策の検討」の3ステップを実直に継続する重要性を学びました。

NWC参加を通じて得た変化について教えてください。

第一に社員の意識変容です。経営層が率先して製造現場に赴き、現場社員と改善策の議論・検証を行うことで、社員一人ひとりの品質に対する意識と責任感が高まってきました。第二に、分析スキルの向上です。分析を毎日行い、週次でまとめ、月次でチェックし、絶えずPDCAサイクルを回すことで、現場社員の、製造工程における課題抽出と解決策検討の精度が向上しました。結果、生産効率も売上も大幅に向上し、2022年度のNWCでは金賞を獲得。社員たちは更なる自信を持って品質改善活動に取り組み、現場の活性化につながっています。現在、当社ではNWCでの学びを全ての仕入れ先にも波及させ、更なる品質改善にチャレンジしています。

NWC(Nitori World Circle)活動とは

ニトリグループ国内外問わず、志を同じくするメンバーでサークルを結成。日頃の業務から問題点を発見し、改善・改革を推進する活動で、現場の声を直接経営陣に提言できます。2022年度は、全371チームが参加。そのうち33チームが海外サプライヤーからのエントリーで、サプライヤーが主体となり改善・改革に取り組んだ事例が数多く発表されました。

